



①仲よし2人で1枚／②みんなでメモリアルカレンダーの撮影／③母校の先生からのメッセージに湧き上がる歓喜／④私の夢をバルーンに込めて／⑤・⑥友人と記念撮影／⑦市長と一緒にハイチーズ！／⑧りんご王国の王様から記念品の贈呈／⑨二十歳のお茶会で茶菓を手／⑩友人との再会に溢れる笑顔

平成30年度 二十歳の祭典

# 夢に向かって新たなスタート

1月13日(日)、市民会館(下白銀町)を会場に、「二十歳の祭典(成人式・成人祭の2部構成)」が開催され、対象となった1,710人(男性835人・女性875人)のうち、1,298人が参加しました。

成人式では、櫻田市長が「さまざまなことに興味・関心を持ち、弘前市発展の一翼を担ってほしい」と式辞を述べたのに対し、新成人を代表して石田有人さん(弘前医療福祉大学)が「失敗を恐れず何事にも全身全霊で取り組みます」、成田想さん(東北女子大学)

が「常に学ぶことを忘れず、相手を尊重し、郷土に貢献します」、建部公祐さん(弘前医療福祉大学)が「自分の行動、発言に責任を持ち、周りの人に感謝と思いやりの心を持ち続けます」と強い決意を述べました。

式典終了後に行われた成人祭では、お茶会やメモリアルカレンダーの作成、抽選会などが行われたほか、市民会館前庭に設けられた軽食コーナーで温かいコーヒーや雑煮などが振る舞われ、大勢の新成人が旧友との再会を喜び、楽しいひとときを過ごしました。

主催者あいさつ

本日、晴れて成人式を迎えられた皆さん、誠にありがとうございます。新成人の皆さんの新たな門出を心からお祝い申し上げますとともに、これまで皆さんを慈しみ、育ててこられたご家族の皆様にも、お祝いを申し上げます。  
 本年は、弘前市が誕生して130年を迎える節目の年であります。平成という時代から新しい元号に変わる年でもあり、先人が築き上げてきた「弘前」にさらに磨きをかけ、次の時代に胸を張って引き継いでいく、新しい「弘前」づくりが始まります。新成人の皆さんには、この弘前市、青森県、日本、そして、世界に目を向け、さまざまなことに興味・関心を持ち、これからの弘前市発展の一翼を担っていただきたいと強く願います。(要約・抜粋)

弘前市長 櫻田 宏

